

道 民 意 識 調 査

< 調 査 票 >

記入に当たってのお願い

- お答えいただく方の氏名、住所などは、記入する必要がありません。
- 質問には、回答を1つだけ選んでいただく質問、回答数が制限されている質問、および回答数に制限のない質問がありますので、ご注意願います。
- 回答は、質問ごとに用意した答えの中から、あなたのお考えにあてはまる答えの番号を質問内容に従って○印などで囲んでください。
「その他」に○印をつけた方は、()内に具体的な内容を記入してください。
- 一部の方だけに答えていただく質問もありますが、その場合は説明文がありますので、ご覧いただきお答えください。

調査票のご返送について

- 回答をご記入いただいた調査票は、記入漏れのないことを確かめのうえ、同封の返信用封筒により、切手を貼らずに、平成28年9月1日(木)までにご返送をお願いします。(※返信用封筒への氏名や住所の記入は不要です)
- 返信用封筒のあて先は、北海道が調査を委託した会社となっています。
※調査委託会社：株式会社東京商工リサーチ北海道支社

使用目的と調査票の廃棄

- この調査は、北海道が各市町村に住民基本台帳の閲覧を依頼し、無作為に選ばせていただいた方々に、ご協力をお願いしています。
- この調査票に記入された内容については、調査の目的以外に使用することはありません。
- 集計後の調査票は、責任をもって廃棄処分しますので、個人の秘密は守られ、ご迷惑がかかることはありません。

この調査に関して、ご不明の点がございましたら、下記あてにお問い合わせください。

(問 い 合 わ せ 先)

北海道 総合政策部 知事室 広報広聴課

〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目

TEL：011-231-4111 (内線 21-363) (時間：平日の8：45～17：30)

目 次

- ◇ 電力の小売全面自由化後における道民の電力会社選択動向等について …… P1～P2
(該当する設問は問1～問7です)
- ◇ 自転車の利用実態等について …… P3～P4
(該当する設問は問1～問7です)
- ◇ がん対策について …… P5～P7
(該当する設問は問1～問7です)
- ◇ 人とヒグマの共存に関する道民の意識について …… P8～P9
(該当する設問は問1～問7です)
- ◇ 森林・森林づくりに関する意識について …… P10～P12
(該当する設問は問1～問7です)
- ◇ 地域づくりについて
 - I 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて …… P13～P14
(該当する設問は問1～問4です)
 - II 環境を活かし、個性と活力に満ちた地域づくりについて …… P15～P16
(該当する設問は問1～問3です)
- ◇ あなた自身のことについて …… P17～P18
(該当する設問はF1～F6です)

◇ 電力の小売全面自由化後における道民の電力会社選択動向等について

○はじめに

北海道電力料の2度にわたる値上げにより、北海道は全国的にも電気料金が高い地域となっている中、本年4月1日から「電力の小売全面自由化」がスタートしました。

道では、道民のみなさまが適切に電力会社等を選択できるよう、自由化について理解を深めていただくことが重要と考えております。

この調査は、電力小売が全面自由化された本年4月以降の、現在の道民のみなさまの事業者選択動向や行政ニーズを具体的に把握し、今後の検討に役立てる目的で実施するものです。

問1 あなたの世帯状況についてお答えください。あなたと同居している方はいますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 同居者がいる
- 2 同居者はいない

問2 ※「問1」で選択肢「1」を選んだ方のみお答えください。
同居している方はどなたですか。
次の中から該当するものをすべてお選びください。

- 1 配偶者
- 2 小学校入学前の子
- 3 小・中学生
- 4 高校生
- 5 大学生・専門学校生
- 6 その他

問3 北海道電力は、平成25年9月と平成26年11月の2度にわたり電気料金の値上げを行いました。影響はありましたか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 影響は大いにある
- 2 多少影響はある
- 3 ほとんど影響はない
- 4 わからない

問4 4月からの「電力小売の全面自由化」を機に、これまでの電力会社（北海道電力）から新しい電力会社へ切り替えましたか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 すでに新しい電力会社に切り替えている、または、切り替える予定となっている
- 2 現時点では、新しい電力会社に切り替えていない

問5 ※「問4」で選択肢「1」を選んだ方のみお答えください。
新しい電力会社への切り替えにあたり、最も重視した（する）事項は何ですか
次の中から2つまでお選びください。

- 1 料金の安さ
- 2 料金体系のわかりやすさ
- 3 付帯サービスの充実（ポイント制等）
- 4 電源構成における再生可能エネルギーの割合
- 5 地元企業かどうか
- 6 経営の安定性
- 7 その他（具体的に：)

問6 ※「問4」で選択肢「2」を選んだ方のみお答えください。
新しい電力会社に切り替えない理由は何ですか。
次の中から、1つだけお選びください。

- 1 切り替えたいが、手続きがよくわからない
- 2 切り替えたいが、魅力的な電力会社がない
- 3 どの電力会社も大きな差がないので、わざわざ切り換える必要を感じない
- 4 そもそも、4月から電力小売が全面自由化されたことを知らなかった
- 5 その他（具体的に：)

問7 国や道では、現在、「電力の小売全面自由化」について、その制度概要やQ&A、
国に登録した電力会社など、道民のみなさまが電力会社を選ぶ際に参考としてい
ただく情報を、ホームページやパンフレットなどを通じ、提供しております。こ
の取組についてお伺いします。
次の中から、いくつでもお選びください。

- 1 行政からの情報は、十分参考となっている
- 2 行政からは「電力の小売全面自由化」の仕組みなど制度に関する情報がもっと欲しい
- 3 行政からは電力会社と契約するにあたって注意すべき点についての情報がもっと欲しい
- 4 行政からは電力会社を選ぶ際に参考となるような道内の電力会社に関する情報がもっと欲しい
- 5 その他（具体的に：)

◇ 自転車の利用実態等について

○はじめに

自転車に係る交通事故や交通違反の実態をみると、自転車の利用については、いまだルールの徹底が図られていない現状にあり、昨年6月1日からは道路交通法の一部改正により、自転車運転者講習制度の運用も開始されました。

この調査は、道民の自転車利用者の意識・実態等を調査することにより、今後の自転車教育の施策に反映させ、自転車利用者のルール・マナーの向上につなげる目的で実施するものです。

問1 あなたの自転車利用の目的を教えてください。
次の中から最も当てはまるものを1つだけお選びください。

- 1 通勤
- 2 通学
- 3 仕事
- 4 買い物
- 5 趣味
- 6 運動
- 7 その他（具体的に： _____)

問2 自転車利用者のマナーについてどのように感じますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 良い
- 2 どちらかと言えば良い
- 3 どちらかと言えば悪い
- 4 悪い

問3 自転車を安全に利用する上で守らなければならないルールを定めた「自転車安全利用五則」をご存じですか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 2 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- 3 知らない（この調査で初めて知った）

問4 平成27年6月から始まった、酒酔い運転、信号無視などの危険行為を反復した方に対して受講を義務付ける「自転車運転者講習」をご存じですか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 2 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- 3 知らない（この調査で初めて知った）

問5 あなたは自転車利用のルールについて、今までに習う機会がありましたか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 習ったことがある
- 2 習ったことがない

問6 ※「問5」で選択肢「1」を選んだ方のみお答えください。
どのような機会（媒体）に習いましたか。
次の中から該当するものをすべてお選びください。

- 1 学校
- 2 職場
- 3 交通安全教室等
- 4 インターネット
- 5 新聞やテレビニュース
- 6 その他（具体的に： _____)

問7 自転車のルールを学ぶための機会は十分だと思いますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 思う
- 2 思わない

◇ がん対策について

○はじめに

今やがんは、2人に1人が罹（かか）るといわれ、道民の3人に1人ががんで亡くなっているなど、道民の生命や健康への大きな脅威となっています。

この調査は、がん医療、がん検診、緩和ケア、相談支援など、がん対策に関する様々な施策についての道民ニーズを把握し、がん対策の一層の充実に向けて、平成29年度中に見直すこととしている次期「北海道がん対策推進計画」に反映することを目的で実施するものです。

問1 あなたは、「がん」について、どのような印象を持っていますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 こわいと思う
- 2 どちらかと言えば、こわいと思う
- 3 どちらかと言えば、こわいとは思わない
- 4 こわいと思わない
- 5 わからない

問2 定期的ながん検診の実施により、がんを早期に発見し、治療に当たることはたいへん重要ですが、日本のがん検診の受診率は、欧米に比べ低い傾向にあります。少しでも多くの方ががん検診を受けるためには、どのような対策が必要だと思いますか。
次の中から3つまでお選びください。

- 1 本人の自覚を促すこと
- 2 市町村や職場から積極的に働きかけすること
- 3 検診を無料化すること
- 4 からだに負担の少ない検査方法にすること
- 5 身近なところで受診できるようにすること
- 6 休日・夜間に受診できるようにすること
- 7 学校で健康教育を行うこと
- 8 がんに罹りやすい年代などの情報を提供すること
- 9 治療費に関する情報を提供すること
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____)

問3 ご自身または家族ががん患者となった場合、どこに相談しますか。
あるいは、がんに関する情報をどこから入手しますか。
次の中から3つまでお選びください。

- 1 がん診療連携拠点病院の相談支援センター
- 2 通院・入院先の病院
- 3 がん患者団体・家族会
- 4 知人・友人
- 5 主治医・かかりつけ医
- 6 新聞・テレビ・ラジオ
- 7 書籍
- 8 インターネット
- 9 信頼できる情報源はない
- 10 わからない
- 11 その他（具体的に： _____)

問4 がんになっても働き続けられることができる社会づくりのため、今後、どのようなことが必要だと思いますか。
次の中から3つまでお選びください。

- 1 医療従事者による適切な治療計画の提供
- 2 勤務する企業・職場の管理者の理解
- 3 職場の同僚等のサポート
- 4 家族をはじめとする支援者のサポート
- 5 治療と就労を両立するための福利厚生の充実
- 6 治療と就労の両立をサポートする相談支援窓口の充実
- 7 在宅勤務の普及など、就労をめぐる社会環境の整備
- 8 その他（具体的に： _____)

問5 がん患者が質の高い療養生活を送るため、がんと診断されてからの「緩和ケア」に取り組む医療機関や施設が増えていますが、「緩和ケア」について、あなたはどの程度ご存じですか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 どのようなものかよく知っている
- 2 ある程度知っている
- 3 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 4 まったく知らない

問6 仮にあなたががん患者となり、余命6か月と宣告された場合、療養生活の場として希望するのはどこですか。
次の中から、1つだけお選びください。

- 1 最期まで「自宅」を希望する
- 2 老人ホームなどの「施設」を希望する
- 3 緩和ケアなどを受けられる「病院」を希望する
- 4 その時に受診（通院・入院）している「病院」を希望する
- 5 「自宅」で過ごしたいが家族の負担等があるので「施設や病院」等を希望する
- 6 わからない
- 7 その他（具体的に： _____)

問7 がん対策を進める上で、今後、どのような取組が特に重要だと思いますか。
次の中から、3つまでお選びください。

- 1 専門的ながん医療を提供する医療機関の整備
- 2 がん医療に精通した医療従事者の育成・確保
- 3 がん検診の受診率向上
- 4 受動喫煙の防止
- 5 学校における健康教育の充実
- 6 がん治療の初期段階からの緩和ケアの充実
- 7 在宅で療養できる環境の整備
- 8 がんに関する情報提供の充実
- 9 がんに関する相談支援窓口の整備
- 10 患者団体等への支援
- 11 がん患者や家族への経済や雇用等の支援
- 12 がん研究の推進
- 13 その他（具体的に： _____)

◇ 人とヒグマとの共存に関する道民の意識について

○はじめに

道では、人とヒグマとのあつれきを軽減しながら、ヒグマ個体群の存続を図るため、平成26年3月に「北海道ヒグマ保護管理計画」を策定し、総合的なヒグマの保護管理施策に取り組んでいるところですが、本計画の適正な推進を図るため、道民の野生のヒグマに対する意識について調査を行うものです。

問1 あなたは、ヒグマとの接触の可能性のある行動をどの程度していますか。
次の中から1つだけお選びください。

項目	回答				
	全くない	年に5日未満	年に2週間未満	年に30日未満	年に30日以上
(1) ヒグマの住む山野に出かける	1	2	3	4	5
(2) ヒグマが出没する農地に出かける	1	2	3	4	5

問2 過去5年間に、ヒグマについてあなたが経験されたことを、次の中からいくつでもお選びください。

- 1 糞（ふん）や足跡などを見た
- 2 遠くから目撃した
- 3 遭遇した
- 4 畑や家畜などに被害を受けた
- 5 自分や身内、知人が人身事故にあった
- 6 1～5までの経験はない

問3 ※「問1」で選択肢「2」～「5」を選んだ方のみお答えください。
あなた自身で行っているヒグマ対策について、次の中からいくつでもお選びください。

- 1 鈴など音の出るものを持参
- 2 撃退用スプレーの持参
- 3 鉈（なた）の持参
- 4 出没情報に気をつける
- 5 電気柵の設置など防除対策
- 6 ゴミの適切な処理
- 7 その他（具体的に： _____）
- 8 特に何もしていない

問4 北海道のヒグマに関する次の意見に対して、あなたの考えに当てはまるものを次の中からいくつでもお選びください。

- 1 ヒグマは北海道の象徴である
- 2 ヒグマについてもっと知りたい
- 3 ヒグマの保護は必要だ
- 4 ヒグマは居なくていい
- 5 ヒグマが市街地近くや農地に出てくることについて許せない
- 6 ヒグマとの共存は可能だ
- 7 ヒグマに餌を与えることは良くない
- 8 ヒグマによる事故や被害は知識や技術で避けることができる
- 9 ヒグマによる事故や被害の責任は被害者にもある
- 10 野生のヒグマを目撃できる場所に行ってみたい

問5 ヒグマに対する【A】と【B】の考え方に対して、あなたの考えに当てはまるものを、次の中から1つだけお選びください。

【A】 捕獲して積極的 に数を減らすべき	Aである	どちらかという とAである	どちらでも ない	どちらかという とBである	Bである	【B】 できるだけ殺さず に対応すべき
	1	2	3	4	5	

問6 北海道や関係する機関が、今後さらに力を入れるべきヒグマ対策について、あなたが必要と考える取組を、次の中からいくつでもお選びください。

- 1 農地や市街地の周りに電気柵を設置するなど被害防除対策を進めるべきである
- 2 ヒグマの正しい知識を普及すべきである
- 3 ヒグマを捕獲する技術者を育成すべきである
- 4 ヒグマに対する地域の危機管理体制を構築すべきである
- 5 ヒグマを狩猟資源や観光資源として有効に活用すべきである
- 6 ヒグマの生息地の環境保全を図るべきである
- 7 調査研究やモニタリングを推進すべきである

問7 「問6」で選んだ選択肢のうち、特に重要と考える取組を、優先順位の高い順に3つ記載してください。

優先順位1位	優先順位2位	優先順位3位

◇ 森林・森林づくりに関する意識について

○はじめに

「北海道森林づくり基本計画」の見直しにあたり、森林の機能や森林づくりに関する取組などについての課題を把握するとともに、今後の計画改定に当たっての基礎資料等に役立てるため、調査を行うものです。

問1 あなたは、森林にどのような働きを期待しますか。
次の中から3つまでお選びください。

- 1 木材を生産する働き
- 2 キノコ類や山菜などを生産する働き
- 3 貴重な野生動植物の生息の場としての働き
- 4 森林浴やレクリエーションの場としての働き
- 5 野外における教育の場としての働き
- 6 山崩れや洪水などの災害の防止や津波被害を軽減する働き
- 7 水を貯えたりきれいにする働き
- 8 大気をきれいにしたり、騒音をやわらげたりする働き
- 9 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化を防止する働き
- 10 都市部や観光地などの景観を形成したり、憩いの場となる機能
- 11 わからない
- 12 その他（具体的に： _____)

問2 森林には様々な働きがあり、その機能を維持するため、森林所有者は、国や自治体の助成を受けながら、費用の一部を負担して森林づくりを行っていますが、森林づくりに関わる費用負担はどのようにするべきだと思いますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 所有者が全額負担すべき
- 2 所有者が、現行どおり既存の助成制度を活用しながら、費用の一部を負担すべき
- 3 国や自治体が全額負担し、所有者の費用負担をなくすべき
- 4 その他（具体的に： _____)

問3 道では、道産木材と木製品の利用を促進していくために、これまで木材が利用されてこなかった分野や輸入材が利用されてきた分野などで利用を広げる取組を進めています。
今後、どのような利用に期待しますか。
次の中から3つまでお選びください。

- 1 中・高層ビルでの利用
- 2 個人の住宅での利用
- 3 コンクリート型枠や防護柵など土木用資材としての利用
- 4 燃料（木質ペレット、薪など）としての利用
- 5 木材が使われてこなかった分野への新たな製品・用途の開発
- 6 机やコピー用紙など、身近な商品での利用
- 7 道外への移出や海外への輸出の促進
- 8 利用を広げる必要はない
- 9 その他（具体的に： _____)

問4 道産木材や木製品の利用が広がることによって、どのような効果を期待しますか。
次の中から2つまでお選びください。

- 1 植樹や間伐などの森林の手入れが進むことにより、森林の持つ様々な機能（土砂災害防止、水資源の保全など）が強化される
- 2 木材の利用により二酸化炭素の排出量が縮減され、地球温暖化防止に貢献する
- 3 北海道経済が活性化する
- 4 山村地域の雇用が増大する
- 5 伐採による環境破壊が心配
- 6 道産木材を利用促進する意義は感じない
- 7 その他（具体的に： _____)

問5 森林認証制度やロゴマークを知っていますか。

次の中から、1つだけお選びください。

森林認証とは、適切な森林経営や持続可能な森林経営が行われている森林または経営組織などを第三者機関が認証し、それらの森林から生産された木材・木材製品へラベルを貼り付けることにより、消費者の選択的な購買を通じて、持続可能な森林経営を支援する取組です。



- 1 ロゴマークを見たことがあり、「森林認証」の制度も知っている
- 2 ロゴマークを見たことがあり、「森林認証」の言葉も聞いたことがある
- 3 ロゴマークを見たことがあるが、「森林認証」という言葉を聞いたことはない
- 4 ロゴマークを見たことはないが、「森林認証」という言葉を聞いたことはある
- 5 ロゴマークも「森林認証」という言葉も両方知らない（この調査で初めて知った）

問6 あなたは、「木育（もくいく）」^{*}という言葉をご存じですか。

次の中から1つだけお選びください。

（※「木育」とは、森林づくり活動や木材とのふれあいを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育む、北海道生まれの取組です。）

- 1 聞いたことはあるが、内容はよく知らない
- 2 聞いたことがあり、内容もある程度知っている
- 3 知らない（この調査で初めて知った）

問7 あなたがこれから参加してみたいと考える木育活動はどれですか。

次の中からいくつでもお選びください。

- 1 植樹
- 2 育樹（植えた木の成長を助ける下草刈りや間伐などの作業）
- 3 森林散策や森林浴
- 4 森林教室や自然観察会
- 5 木製遊具で遊ぶ
- 6 木工体験
- 7 製材・木工所の見学会
- 8 地域材を使用した住宅見学会
- 9 「緑の募金」への協力
- 10 木育活動への参加は特に考えていない
- 11 その他（具体的に

◇ 地域づくりについて（その1）

I 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて

○はじめに

豊かな自然に恵まれ、広大な土地に様々な歴史・文化・産業を有する北海道ですが、魅力的な地域として注目を集める一方で、全国を上回るスピードで人口減少が進んでいます。

この人口減少という危機を突破するためにも、安心して子どもを育み、そして、道民一人ひとりが将来にわたって暮らし続けたいと思える北海道の実現をめざして、道は、地域の創生に向けた各種の取組を進めているところです。

この調査は、本道の人口減少問題や、現在、お住まいの地域における生活全般に関してみなさまのご意見をお伺いし、今後の取組の参考とさせていただくために実施するものです。

問1 あなたは、人口問題のうち、人口減少についてどのように思いますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 人口減少を問題とは思っていない
- 2 将来の問題であり、当面の対応は必要ない
- 3 次世代のために、徐々に取り組むべき
- 4 すでに問題が生じており、今すぐに取り組むべき

問2 あなたは、現在住んでいる市町村にこれからも住みたいと思いますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 できれば今と同じ市町村に住んでいたい
- 2 できれば道内の他の市町村へ移りたい
- 3 できれば北海道以外の所へ移りたい
- 4 よくわからない

問3 あなたは、食料品などの日々の買い物に満足を感じていますか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 満足している
- 2 やや満足している
- 3 やや不便を感じている
- 4 不便を感じている
- 5 どちらともいえない

問4 ※結婚されている方のみお答えください。
実際に持つつもりの子どもの数が、理想とする子どもの数に比べて少ない方に伺います。その理由は何ですか。
次の中から、あてはまる番号すべてに○を付け（いくつでも可）、
その中で最も重要な理由には◎を1つだけ付けてください。

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 2 家が狭いから
- 3 自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから
- 4 子どもがのびのび育つ環境ではないから
- 5 自分や夫婦の生活を大事にしたいから
- 6 高年齢で生むのはいやだから
- 7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
- 8 健康上の理由から
- 9 ほしいけれどもできないから
- 10 夫または妻の家事・育児への協力が得られないから
- 11 夫または妻が望まないから
- 12 末子が夫の定年退職までに成人してほしいから
- 13 その他（具体的に： _____)

◇ 地域づくりについて (その2)

Ⅱ 環境を活かし、個性と活力に満ちた地域づくりについて

○はじめに

環境を活かし、個性と活力に満ちた地域づくりを進めるためには、生活や産業を支える社会的な施設（社会資本）が必要です。

この調査は、限られた財源の中で北海道にとって必要な社会資本の効果的・重点的な整備を進めていくために、道民のみなさまのご意見をお伺いし、今後の社会資本整備重点化方針の検討などに役立てていくために実施するものです。

問1 環境を活かし、個性と活力に満ちた地域づくりを進めるために、あなたが今後、整備が必要だと思う社会資本の分野は何ですか。
次の中から3つまでお選びください。

- 1 生活基盤：公園、上下水道、公営住宅、送電施設など
- 2 保健・医療・福祉基盤：病院、介護老人福祉施設など
- 3 農林水産基盤：農地、農業用施設、漁港、漁場、流通加工貯蔵施設など
- 4 環境基盤：森林、リサイクル施設、廃棄物処理施設、家畜ふん尿処理施設など
- 5 観光基盤：道路標識、案内板、休憩施設、自然体験型レクリエーション施設など
- 6 高度情報通信基盤：光ファイバー網、防災情報や交通情報を提供するシステムなど
- 7 交通基盤：道路、空港、港湾、鉄道など
- 8 国土保全基盤：治山、治水、海岸保全、砂防施設など
- 9 教育・文化施設：学校、文化施設など
- 10 その他（具体的に _____)

問2 限られた財源の中で、社会資本の整備を進めていくときに、どちらの考え方が、あなたの考え方に近いですか。
次の中から1つだけお選びください。

- 1 整備が急がれる社会資本を優先し、そうでないものは整備が遅れてもやむを得ない
- 2 全体の整備が遅れても、特定の社会資本の整備を優先せず、必要な社会資本はすべてにわたって整備を進める
- 3 どちらともいえない

問3 今後10年間の社会資本整備を進める上で、あなたが重視すべきと考える「視点」について、どのようにお考えですか。
次の中から3つまでお選びください。

- 1 多様なネットワークに支えられた持続可能で活力ある地域づくり
例) 空港や港湾の機能向上、鉄道や道路などの交通基盤の整備
- 2 個性豊かで国内外を魅了する地域づくり
例) 食産業や観光産業等の振興のための基盤づくり
- 3 人と自然の共生を基本とした環境の保全と創造
例) 河川・湿地・湖沼・海岸などの自然環境の保全・再生
- 4 環境への負荷が少ない持続可能な社会の構築
例) 森林の保全・整備、リサイクル・廃棄物処理施設の整備
- 5 ゆとりと安心を実感できる暮らしの形成
例) 地域医療体制の整備、歩行空間のバリアフリー化、公園の整備
- 6 強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮
例) 防災・減災対策、老朽化対策、耐震化、食料やエネルギーの備蓄・供給
- 7 その他（具体的に： _____)

F 4 あなたのお住まいの市町村はどの圏域になりますか

- 1 道南圏（渡島総合振興局・檜山振興局）
- 2 道央圏（石狩振興局・空知総合振興局・後志総合振興局・胆振総合振興局・日高振興局）
- 3 道北圏（上川総合振興局・留萌振興局・宗谷総合振興局）
- 4 オホーツク圏（オホーツク総合振興局）
- 5 十勝圏（十勝総合振興局）
- 6 釧路・根室圏（釧路総合振興局・根室振興局）

F 5 あなたは、今の市町村に住むようになって何年になりますか

- | | | |
|------------|----------|-----------|
| 1 1年未満 | 2 1～5年未満 | 3 5～10年未満 |
| 4 10～20年未満 | 5 20年以上 | |

F 6 あなたのお住まいの地域は、次のどれにあたりますか

- 1 札幌市
- 2 人口10万人以上の都市
- 3 人口10万人未満の都市
- 4 町村部

【ご協力ありがとうございました】

この調査票は、同封の返信用封筒に入れ、9月1日（木）までに、
切手を貼らずに返送してください。
お手数おかけしますが、よろしく願いいたします。

◎北海道の新たなキャッチフレーズ

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.